

一般質問

(4〜7ページ上段まで)

市議会定例会では、提出された議案を審議するほかに、一般質問として、各議員が市政全般に対して質問することができます。今回は23人28件の一般質問がありました。(他はその他の質問)

旧府中小金井保健所跡地
市施設として利用する考えは

都に申し入れ
保健サービス等の施設として活用したい

村木 茂議員 都の事業再編で、平成16年3月に旧府中小金井保健所が閉鎖された。



▲旧府中小金井保健所

新聞等によると、都は事業再編により、財政建て直しのため、不要になった土地建物を民間へ売却する方針とのことである。当保健所跡地もその対象と思われる。

しかし、この建物は、2年前に改修工事をしており、市の施設として利用できると考える。そこで、この跡地について、市の考えを聞きたい。

市長 現在、市民医療センターが、健診事業や健康教育事業の充実や保健所の再編に伴う事務委譲等により手狭となっている。

また、新たな保健需要に備え、適切な保健サービスを提供する必要性を考えると、既存の施設を生かした活用が望ましく、ぜひとも、本市で活用できればと思っている。ごみ減量の一環、マイバッグ運動について

学校の酷暑対策
教室に扇風機の導入は

関係課と調整し
設置できるように努力していく

高野 律雄議員 今年の夏は本当に酷暑で、特に学校は暑かったと思う。

保護者や教員からは、子どもの熱中症等や授業での集中力の低下などを心配する声が多くあった。

風の通らない教室は授業に集中できない。子どもたちは、ただ我慢するしかなく、それが、現実だと思う。

そこで、酷暑対策として、せめて扇風機を教室に設置すべきと思うが、市の考えを聞

きたい。学校教育部長 今年の酷暑は、授業に集中できる環境づくりという面からは、大変憂慮すべき事態と考えている。

今後、普通教室に扇風機の設置を計画していきたいと考えているが、設置に伴う設備の改修等に多額の経費を必要とすることから、関係各課と調整しながら設置できるように努力していく。

他 学校授業で地域の人材をもっと生かすべきでは

稲城大橋の利用拡大策
無料とする考えは

借入金償還中等の課題があり
無料は困難とのこと

小野寺 淳議員 平成7年に、多摩川で初めての有料架橋、稲城大橋が建設され、府中街道は政橋周辺の渋滞緩和が期待されたが、市民からは、渋滞解消策になっていないとの声を聞く。

そこで、稲城大橋の更なる利用拡大策として府中・稲城市間を無料にする考えがあるか聞きたい。

また、稲城市内であるが、府中街道と交差するJR南武線の高架化の進捗よく状況は、

現在どうなっているか。都市建設部長 同橋は、東京都道路公社が有料橋として建設したもので、借入金の償還中であること、都の同意、国土交通省の承認が必要なことから無料には出来ないとのことである。

高架化の進捗よく状況については、現在、用地買収中で、17年度には仮線に着手し、22年度には完成したいとのことである。

等を踏まえ、住民の不安除去に努めることが求められるが、対策を考えているのか。

環境安全部長 事業者側は、都条例に基づき、建設前に土壌汚染の拡散防止計画書を都に提出することになる。

また、汚染物質の拡散に対しては、事業者が粉じんに含まれる汚染物質を調査し、結果を公表することとなる。

今後は、土壌等の調査結果とあわせ、防止対策の十分な説明を行うよう、都を通じ事業者側に強く要請していく。

この跡地は、条例に基づき土地利用構想の届出がされていると聞けが、住民は土壌汚染や東側の更地の対策をどうするか、不安に思っている。



▲旧西友流通センター跡地

府中のシンボル「けやき並木」
今後の保存計画は

並木の景観に配慮した
長期的な保護対策に取り組む

比留間 利蔵議員 ケヤキが並木として国の天然記念物に指定されているのは、全国で府中市だけと聞く。本市のけやき並木は、まさに府中のシンボルといえる。

市制50周年記念パレードもけやき並木で行われ、太鼓と山車が参加することなどが、太鼓は大人たちが、山車は地域の学校にお



▲けやき並木

願いするなど、地域の子供たちの参加が重要と思う。学校、地域、家庭を結ぶ良い機会なので、実現してほしいと思っている。

そこで、市民の憩いの場として、けやき並木及びその周辺の更なる活性化が重要と考えるが、けやき並木の今後の保存計画を聞きたい。

市長 まず、2か年計画で並木の保存対策調査を行い、その調査結果をもとに、けやき並木を単なる国指定天然記念

最終的には議会と相談し
市の方針を定めていく

交付・廃止決定の責任までも
協議会にすりかえることにならないか

村井 浩議員 市は、市民参加の補助金検討協議会を設置したが、同協議会が行政の都合のよい方向に利用されることはあってはならないと考えるようないかなうと、議員が心配されるようなことがないよう、議会と相談し、方針を定めていきたい。

財務部長 平成15年度に、係長職による補助金連絡会を設置し、各補助金の公平性・公益性等を整理した。この結果は、補助金整理表として、同協議会に提出し、審議の参考としてもらっている。

また、補助金の方向性などを市の職員がフリートークンで意見を述べ、それを公開してはどうか。

市長 補助金は国・都が立ち上げたものや市民要望のもの

男女混合名簿
市の考えは

男女共同参画社会の実現に向けた
同名簿の推進を示す都と同様の考え

鈴木 錦治議員 現在、教育改革が進んでいるが、過渡期による問題点等も出てきており大変心配である。

今、大人がすべきことは、もっと教育に目を向け、次世代を育てるために行動し、子供たちをすくすく育てられる学校にすることと思う。

そこで、男女混合名簿の使用を禁止するとの新聞報道もあったが、市の考えは、学校教育部長 都は、男女共同参画社会の実現に向けた男女混合名簿の推進を示しており、本市も同様の考えである。

しかし、男らしさや女らしさをすべて否定するような誤った考え方としてのジェンダー・フリーに基づく混合名簿の作成はあってはならない。

性別の違いが性の順位性等の誤った認識を子供たちに持たせないためには、混合名簿は意義あることと認識している。

名簿の使用は、男女混合の意義を十分に踏まえ、校長の権限と責任で判断している。

権限と責任で判断している。